

【情報解禁日時】紙媒体 9月6日(火) 朝刊以降、WEB媒体 9月6日(火)午前11時以降

各位

公益財団法人松竹大谷図書館 クラウドファンディングプロジェクト

名匠・小津安二郎の記録映画『鏡獅子』を4Kデジタル修復

～蘇る六代目の舞台、小津安二郎『鏡獅子』を次世代へ～

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、公益財団法人松竹大谷図書館では9月6日より、クラウドファンディングサービス「REDAYFOR」にて、名匠・小津安二郎監督が撮影し、名優・六代目尾上菊五郎が踊った歌舞伎記録映画『鏡獅子』の当館所蔵フィルムを4Kデジタル修復し、鮮明な映像と音声で蘇らせるプロジェクト「【第11弾】蘇る六代目の舞台、小津安二郎『鏡獅子』を次世代へ。」を開始いたします。

当館では平成25(2013)年より、クラウドファンディングで貴重資料のデジタル化や保存プロジェクトに取り組み、毎年成果を上げております。そこで今年度は、2023年の小津安二郎生誕120年に向けて、小津監督の唯一の記録映画であり、また初めてのトーキー映画でもあるこの『鏡獅子』フィルムを4Kデジタル修復し、劣化した映像と音声を蘇らせることに挑戦いたします。



▲小津安二郎 ©松竹株式会社

大正、昭和を通して活躍した歌舞伎俳優・六代目尾上菊五郎が、踊りの名手として高い評価を得た舞踊『春興鏡獅子』を踊り、世界的な映画監督・小津安二郎が撮影した記録映画『鏡獅子』は、当館のみならず日本の演劇・映画界にとっても貴重な財産であり、未来へと遺したい大切な映像資料のひとつです。

当館が管理している歌舞伎記録映画『鏡獅子』は昭和10(1935)年、六代目菊五郎が51歳の時に撮影され、昭和25(1950)年に再編集された約24分の映像です。映画『鏡獅子』のオリジナル原稿の所在は確認されていませんので、当館が所蔵するフィルムは大変貴重な映像です。しかし今回デジタル化を進めようとしているフィルムはビネガーシンドロームによる劣化が進み、このままでは記録された映像が失われてしまう恐れがあり、一刻も早いデジタル化が望まれる状態です。

この貴重な映像を4Kデジタル修復により蘇らせ、次世代まで届けることを目指しています。これまでで最も高い目標金額に挑戦するため、広くご支援を賜りたく、当プロジェクト告知へのご協力をお願い申し上げます。

【記録映画『鏡獅子』について】

■撮影年月

舞踊部分：昭和10(1935)年6月25日～26日

楽屋部分：昭和11(1936)年5月

冒頭歌舞伎座外観：昭和11(1936)年1月

■撮影場所：歌舞伎座

■監督：小津安二郎

■撮影：茂原英雄

■配役：小姓弥生後に獅子の精：六代目尾上菊五郎

胡蝶：尾上琴次郎(のちの初代尾上菊之丞)

胡蝶：尾上しげる(のちの二代目西川鯉三郎)

■時間：約24分(うち舞踊部分約18分)

■音声：トーキー



▲映画『鏡獅子』より 六代目尾上菊五郎

【フィルム4Kデジタル修復について】

今回のデジタル修復作業は、一番オリジナルに近いと思われる1959年製のフィルムを基本素材として行う予定です。選定したフィルムは35mmポジフィルムで、情報量は4K相当です。その情報量を活かし、4K解像度でのデジタルスキャンを行います。映像と音声について、それぞれ専用の高性能スキャナーにより最適なスキャンを行います。デジタル修復では、作品が持つ制作意図や狙いを忠実に守りつつ、1コマ1コマ確認しながら修復技術を駆使し、公開当時の画調、音の再現を目指します。



▲当館所蔵1959年製『鏡獅子』35mmフィルム

【『鏡獅子』4Kデジタル修復作業にご協力いただく企業】

■総合監修、映像と音声のデジタル修復、メディアの制作

[株式会社松竹映像センター](#)

■フィルムの調査、補修、映像スキャン

[株式会社IMAGICA エンタテインメントメディアサービス](#)

■音声スキャン

[株式会社東京現像所](#)

【本プロジェクト概要】

■プロジェクト名：「【第11弾】蘇る六代目の舞台、小津安二郎『鏡獅子』を次世代へ。」

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan11>

■募集期間：令和4年9月6日11時より10月26日23時まで【50日間】

■実行者：松竹大谷図書館事務局 武藤祥子

■目標金額：400万円（『鏡獅子』4Kデジタル修復費：350万円、利用手数料：50万円）

■募集金額：一口 3,000円 / 5,000円 / 10,000円 / 30,000円 / 50,000円

■リターン：支援金額に応じて趣向を凝らしたリターンがプラスされます。

【3千円以上】松竹大谷図書館HPへのお名前掲載

【5千円以上】松竹大谷図書館オリジナル文庫本カバー『鏡獅子』完成台本表紙デザイン

【1万円以上】映画や歌舞伎の台本を保護するカバーに支援者として皆様のお名前を記載

【3万円以上】『鏡獅子』オリジナルフィルムしおり

【5万円】『鏡獅子』4Kデジタル修復版初号試写会にご招待(1回25名程、先着順)

会場：株式会社IMAGICA エンタテインメントメディアサービス第一試写室

・12月2日(金) 15:30 無字幕版

・12月15日(木) 19:00 日本語字幕版

・12月20日(火) 10:30 英語字幕版

※試写会当日に参加できない方には、松竹大谷図書館ガイダンス

(『鏡獅子』講座付き、予約制)への参加券をお送りします。



▲ 左より) リターン『鏡獅子』完成台本表紙デザイン文庫本カバー、『鏡獅子』フィルムしおり、試写会会場

〈このリリースに関する問い合わせ先〉

公益財団法人松竹大谷図書館 事務局

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 3階

03-5550-1694 (平日 10:00-17:00)

HP: <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

Facebook: <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>